

川の市民情報

2017年
8国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

外来種再萌芽抑制対策 (シナダレスズメガヤ・ハリエンジュ) を実施しました!

浅川合流点地区では、かつての多摩川らしい礫河原環境を再生するため、平成24年度から自然再生工事を実施しモニタリング調査を行っています。

工事の際に外来種(シナダレスズメガヤ・ハリエンジュ)の除去を行いました。その後再萌芽が顕著に確認されていることから、平成26年度より除去作業を実施し経過観察を行っています。

日時：平成29年7月21日(金) 14:00~16:00

場所：浅川合流点地区(多摩川右岸37.6k付近)

参加者：河川管理者(京浜河川事務所職員20名)、自治体(日野市4名)、
市民団体(日野の自然を守る会4名) 計28名

実施内容：【シナダレスズメガヤ除去】

浅川合流点地区(I期施工)の表土剥ぎ実施箇所の一部にて、抜き取り実施。

※当該箇所は平成27年から人力による抜根作業を実施しており、今回作業が3回目の人力抜根。

※実施量把握のため、5×5mのコドラートを3箇所(密・普・粗)設置し株数を計測

実施量(株数推測)は計算中。

【ハリエンジュの巻き枯らし】

浅川合流点地区(II期施工)付近のハリエンジュを対象に巻き枯らし実施。



コドラート(5×5m)内の株数を計測。平均的な草丈を計測。

抜き取ったシナダレスズメガヤの前で。
みなさん、暑い中お疲れ様でした!

ハリエンジュの巻き枯らしの実施。

鶴見川防災情報連続講座(第2回)を開催しました

「鶴見川防災情報連続講座」の第2回目を7月8日(土)横浜市鶴見区下末吉地区自治連合会の方を対象に開催しました。

今回の講座では、第1回目の河川防災情報の利用の仕方についておさらいをしたあと、参加者の皆さんがお住まいの鶴見区下末吉地区を歩き、想定浸水深を普段生活している町の中で実際に確認し、避難ルートの確認もしていただきました。

また、雨量計等の各種観測機器の説明も行い、機能について理解を深めていただきました。

当日は地元役員の方を中心に、29名の参加がありました。

第3回では机上での「模擬訓練」を実施する予定です。

【参加者の声】

・実際にまちを歩いてみて、普段は意識していない浸水深や地域の地盤の高さを知ることができて、大変勉強になった。

・九州での豪雨が話題になっているが、九州に降っている雨の量が鶴見区には降らないとはいきれないので、そのような豪雨の状況をイメージしながらまちをあるきました。

・自分の家が地域の一番低い場所にあつて、危険なところだと再認識した

平成29年7月は、2件の報告をいただきました。ありがとうございました。



7月のご報告より

一部内容を省略させていただいています。ご了承ください。

皆様からのご報告お待ちしております！

鶴見川上流分科会 大泉様

鶴見川左岸～矢上川を巡視して気づいたことを報告します
 首都高環状北線完成に伴う堤防上道路について
 場所：新横浜大橋左岸上流部 約50m 距離 13.5 km
 内容：堤防上道路から堤外に出るような舗装道路があるが
 行き止まり

【下流側にある緊急時の土砂取り場の側帯にアクセスするため舗装されています。】

ゴミの集積について

常日頃ゴミの回収には苦勞されていると思いますが、樽綱橋付近で4月、5月に集積されたゴミの回収が進んでいないのが気になりました

場所：樽綱橋下流左岸
 ゴミ：自転車他

【ゴミは7/6～14(平日)に回収します。※概ね3ヶ月毎に回収をしています。緊急の場合は別途対応。】

矢上川右岸上の大型土嚢

- (1) 矢上川 一条橋～矢上川橋間右岸低水護岸上に大型土嚢が積まれているが用途を教えてください
- (2) 矢上川直轄区間で本年度堤内の樹木伐採を行ったらしいが、どこをおこなったのか？(回答は右上に続きます)

（左下より続く）

- 【(1)H28年度末に左岸：加瀬処理場～矢上川橋、右岸：一本橋～矢上川橋間のコンクリート平場に堆積した土砂を撤去し土嚢袋に入れて保管。左岸は多摩川で有効利用済み。右岸は有効利用先を調整中。
- 【(2)H28年度末に矢上川橋～矢上橋の左右岸です。】

相模川分科会 長谷川様

相模川右岸堤防平塚市中堂地先川表道路にて、陥没箇所を数か所発見しました。近隣地域住民・農業従事者・河川利用者などの通行人及び車両のために整備していただきたいと思ひます。

土日祝日になると、陥没のある砂利道には、道路両側いっぱい車両が停車してしまい、通行人が通れない危険な状態になります。通行人の妨げにならないように指導していただきたいです。

【ご指摘の陥没箇所につきましては、碎石を充填し補修いたしました。

迷惑駐車に関しましては、河川や周辺施設の利用者によるものと推察されますが、今後確認した際にはチラシ等によって注意喚起するとともに、周辺施設の管理者にも利用者に駐車させないよう協力を仰いでまいります。】

※頂いた情報は個別に対応・所内情報共有させていただいています。

平成29年度RCM 第1回分科会のお知らせ



第9期リバーシビックマネージャーの皆様には、既にご案内をお送りしていますが、平成29年度第1回目の分科会を9月に開催します。

日頃河川のモニタリング等、貴重な情報をお寄せいただいているRCMのメンバーと河川管理者が直接会って意見交換の場を設けることにより、RCMからの活動報告・情報提供、河川管理者側からの情報提供、これらを通じ河川管理上の問題点等を河川管理者・RCM双方で考える場としたいと考えています。是非ご参加下さい。

分科会名	担当出張所	予定会場	開催日
鶴見川上流	新横浜(出)	流域センター会議室(合同)	9月12日
鶴見川下流	鶴見(出)		
多摩川中流分科会	多摩(出)	二ヶ領せせらぎ館	9月8日
多摩川下流分科会	田園調布(出)	出張所会議室	9月22日
浅川分科会	多摩(出)	日野市平山交流センター	9月28日
相模川分科会	相模(出)	出張所会議室	9月20日

RCM事務局より

気象庁の発表によれば、8月前半は東日本太平洋側では日照不足となっていて、このような不順な天候は、平年にはみられないオホーツク海高気圧が7月末に出現し、それに伴う北東からの冷たく湿った気流が8月前半を通して持続していることが影響しているそうです。そのため、関東としては40年ぶりに21日間連続で降雨が観測されました。水源地付近でも降雨があり、ダムの貯水量が徐々に平均値まで回復しつつありますがまだ回復していません。引き続き節水へのご協力をお願いします。

RCM事務局 松本